

# ごみ処理広域化基本構想市民説明会

## 次 第

1. 開 会
2. 市長あいさつ
3. 説 明 （ ごみ処理広域化基本構想について ）
4. 質疑応答
5. 閉 会

- 1) 基本構想策定の趣旨
- 2) ごみ処理の実態と将来推計
- 3) 広域処理の基本方針
- 4) 建設予定地
- 5) 施設基本構想
- 6) 事業スケジュール
- 7) 概算事業費

# 1) 基本構想策定の趣旨 (これまでの経緯と策定目的)

- 趣旨
- 実態推計
- 基本方針
- 建設予定地
- 施設構想
- スケジュール
- 概算事業費

## ○ 朝霞市と和光市の現状

- ・ごみ処理施設の老朽化  
⇒ 処理能力の低下  
⇒ 維持管理コストの増加
- ・大規模修繕等により延命化



安定的かつ効率的なごみ処理体制の構築のため、早期建替えが必要



**ごみの広域処理の検討**



## <広域化のメリット>

- ・環境負荷の低減
- ・熱エネルギーの効率的回収 (交付金の活用)
- ・財政負担の低減など

# 1) 基本構想策定の趣旨 (これまでの経緯と策定目的)

趣旨

H30.8

- ・「朝霞市・和光市ごみ広域処理に関する基本合意書」締結  
(和光市内に焼却施設を共同で建設、次回は朝霞市内)

実態  
推計

H31.4

- ・「朝霞市・和光市ごみ処理広域化協議会」設置

基本  
方針

建設  
予定地

~

- ・ 協議会での協議、廃棄物減量等推進審議会への報告等

施設  
構想

R2.4

- ・「ごみ処理広域化基本構想 (素案)」パブリックコメント

スケジ  
ュール

R2.5

- ・「ごみ処理広域化基本構想」策定

概算  
事業費

# 1) 基本構想策定の趣旨 (本構想の位置づけ)

趣旨

・朝霞市総合計画  
・和光市総合振興計画

実態  
推計

・朝霞市環境基本計画  
・和光市環境基本計画

基本  
方針

・第5次朝霞市一般廃棄物処理基本計画  
・第5次和光市一般廃棄物処理基本計画

建設  
予定地

ごみ処理広域化基本構想  
(本構想)

両市の一般廃棄物の広域処理を目的とし、長期的な視点から一般廃棄物処理及び施設整備に関する基本的な方向性などを取りまとめたもの

施設  
構想

・施設整備基本計画・循環型社会形成推進地域計画・生活環境影響調査・都市計画決定の手続き

スケジ  
ュール

施設整備

概算  
事業費

広域処理

国、県の関連法制度等

- 環境基本法
- 循環型社会形成推進基本法
- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- 資源の有効な利用の促進に関する法律
- 個別リサイクル法

- 廃棄物処理基本方針
- 環境基本計画
- 循環型社会形成推進基本計画
- 廃棄物処理施設整備計画

- 埼玉県環境基本計画
- 埼玉県廃棄物処理基本計画
- 埼玉県ごみ処理広域化計画

## 2) ごみ処理の実態と将来推計（分別区分と収集運搬体制等）

### <ごみの分別区分の違い>

趣旨

実態推計

基本方針

建設予定地

施設構想

スケジュール

概算事業費

朝 霞 市			
分別区分	排出方法	処理方法等	備 考
燃やすごみ	透明・半透明袋	ごみ焼却施設（焼却）	
燃やさないごみ	コンテナ（箱） ビデオテープ類を一度に10本以上出す場合は透明袋	粗大ごみ処理施設（破碎・選別）	1辺が50cm未満のもの
有害ごみ	透明袋	粗大ごみ処理施設（破碎・選別）	
資源ごみ			
プラスチック	透明・半透明袋	プラスチック類処理施設（破碎・選別）	
ペットボトル	コンテナ（箱）、 青のネット袋	プラスチック類処理施設（破碎・選別）	
びん	コンテナ（箱）	ストックヤード	
かん	コンテナ（箱）	あき缶資源化施設（選別・圧縮）	
新聞	ひもで束ねる	民間等の資源化施設	
雑誌・雑がみ	ひもで束ねる、透明袋、 紙袋に入れる	民間等の資源化施設	
ダンボール	ひもで束ねる	民間等の資源化施設	
紙バック	ひもで束ねる	民間等の資源化施設	
布類	透明袋	民間等の資源化施設	
粗大ごみ	戸別有料収集、自己搬入	粗大ごみ処理施設（破碎・選別）	1辺が50cm以上のもの

和 光 市			
分別区分	排出方法	処理方法等	備 考
燃やすごみ	透明・半透明袋	ごみ焼却施設（焼却）	
その他ごみ（不燃・有害）			
不燃ごみ	透明・半透明袋	清掃センター（破碎・選別）	24cm×24cm×35cm 以内のもの
有害ごみ	透明袋	清掃センター（選別）	
資源ごみ			
プラスチック	透明・半透明袋	民間等の資源化施設	
ペットボトル	緑のネット袋	民間等の資源化施設	
びん	コンテナ（箱）	ストックヤード	
かん	コンテナ（箱）	清掃センター（選別・圧縮）	
新聞	ひもで束ねる	民間等の資源化施設	
雑誌・雑紙	ひもで束ねる	民間等の資源化施設	
ダンボール	ひもで束ねる	民間等の資源化施設	
紙バック	ひもで束ねる	民間等の資源化施設	
布類	透明袋	民間等の資源化施設	
粗大ごみ	戸別有料収集、自己搬入	清掃センター（破碎・選別）	24cm×24cm×35cm を超えるもの

➤ 両市の分別区分に大きな違いはありませんが、分類名称、排出方法、対象寸法等に一部違いがあります。

## 2) ごみ処理の実態と将来推計（分別区分と収集運搬体制等）

### <収集運搬体制>

ごみ種別	収集方法	収集回数	収集形態
燃やすごみ	集積所収集	2回/週	委託
燃やせないごみ	集積所収集	1回/週	委託
有害ごみ	集積所収集	1回/週	委託
資源ごみ	集積所収集	1回/週	委託
粗大ごみ	戸別収集	随時申込	委託



- 両市の収集形態は、いずれも許可業者への委託方式を採用しており、収集方法や収集回数に違いはありません。

趣旨

実態  
推計

基本  
方針

建設  
予定地

施設  
構想

スケジ  
ュール

概算  
事業費

## 2) ごみ処理の実態と将来推計（分別区分と収集運搬体制等）

### <搬入車両台数実績>

趣旨

実態推計

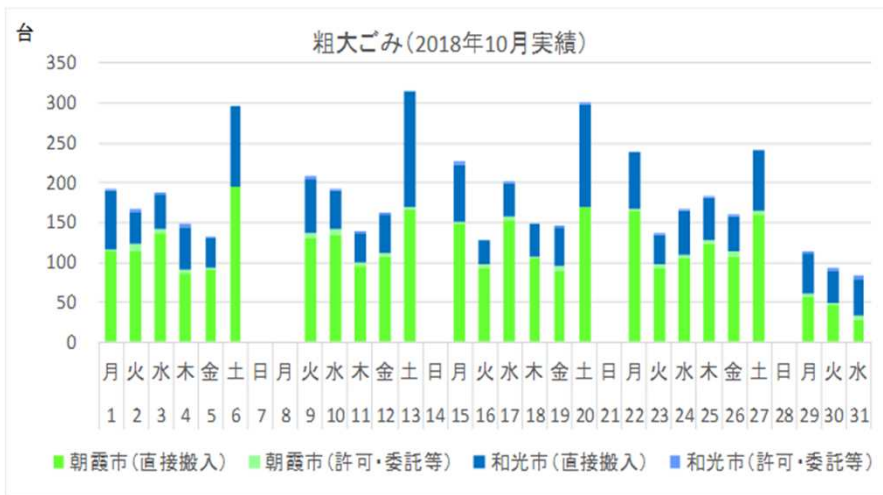
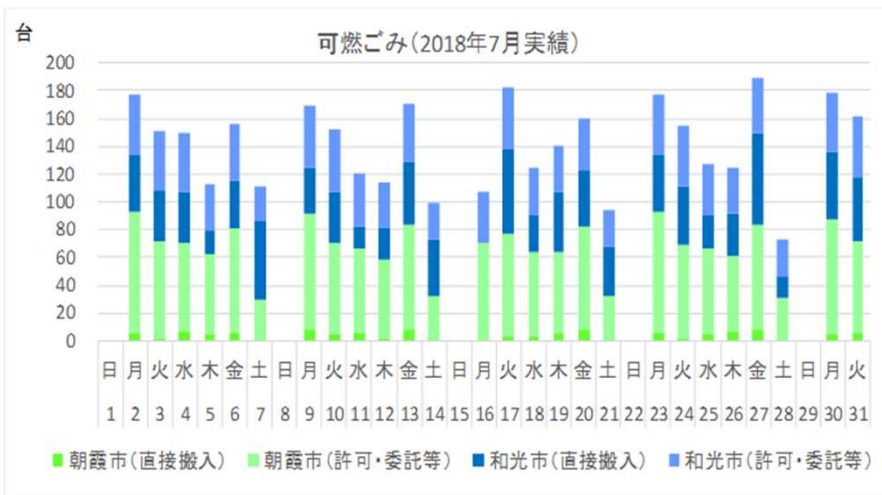
基本方針

建設予定地

施設構想

スケジュール

概算事業費



※ 直接搬入車両の台数に両市で大きな差があるのは受付方法の違いによるものです。

- 可燃ごみについては、土曜日の許可・委託車両が少なくなっていますが、曜日ごとの大幅な偏りは見られません。
- 粗大ごみについては、ほぼ直接搬入車両ですが、土曜日が多い傾向にあります。



## 2) ごみ処理の実態と将来推計 (ごみ排出量)

趣旨

実態推計

基本方針

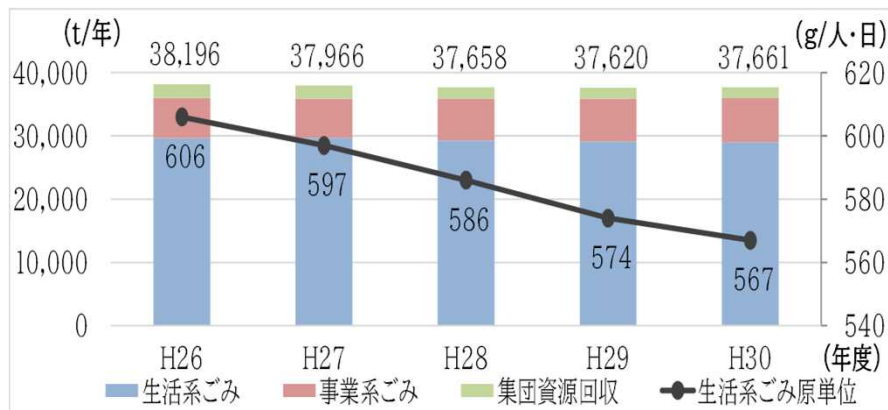
建設予定地

施設構想

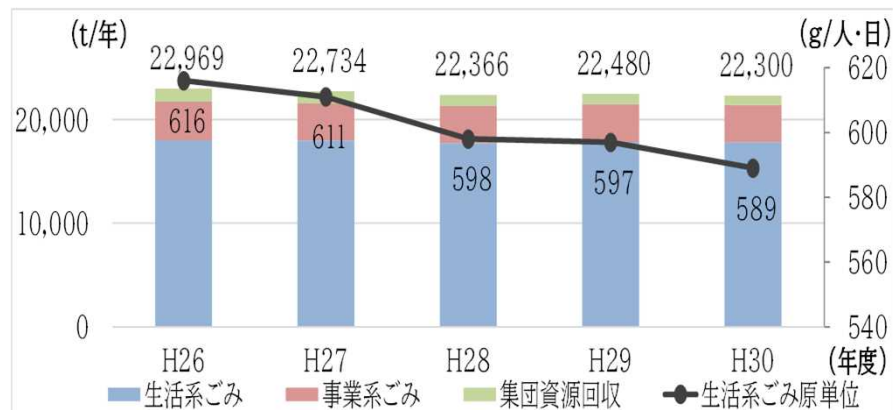
スケジュール

概算事業費

(朝霞市のごみ排出量)



(和光市のごみ排出量)



	H26	H27	H28	H29	H30
生活系	29,665t	29,675t	29,273t	29,077t	29,006t
事業系	6,324t	6,236t	6,535t	6,804t	7,055t
集団回収	2,207t	2,055t	1,850t	1,739t	1,600t

	H26	H27	H28	H29	H30
生活系	18,000t	17,969t	17,705t	17,835t	17,804t
事業系	3,724t	3,589t	3,590t	3,670t	3,592t
集団回収	1,246t	1,175t	1,070t	976t	904t

- 朝霞市では、生活系ごみ、集団回収は減少傾向にあり、事業系ごみは増加傾向にあります。
- 和光市では、生活系ごみ及び事業系ごみは微増減を繰り返しており、集団回収は減少傾向にあります。
- また、生活系ごみ排出量原単位は、両市ともに減少傾向にあります。

## 2) ごみ処理の実態と将来推計（年間ごみ排出量の推計）

趣旨

実態推計

基本方針

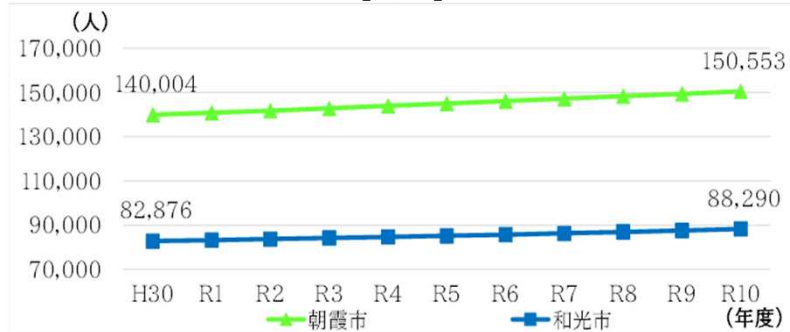
建設予定地

施設構想

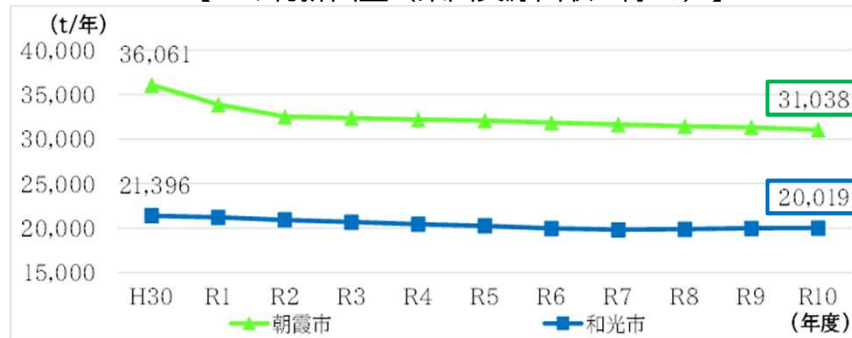
スケジュール

概算事業費

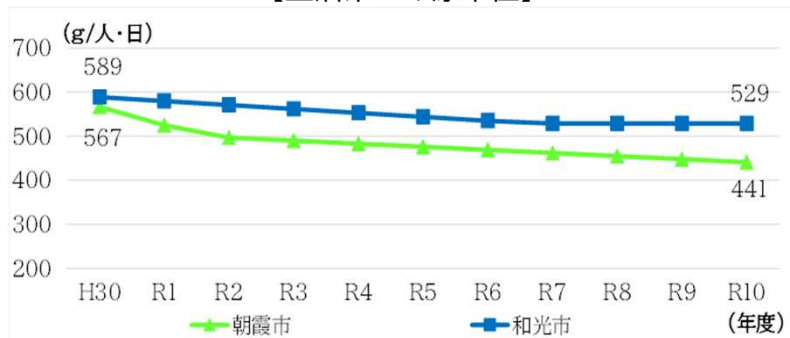
【人口】



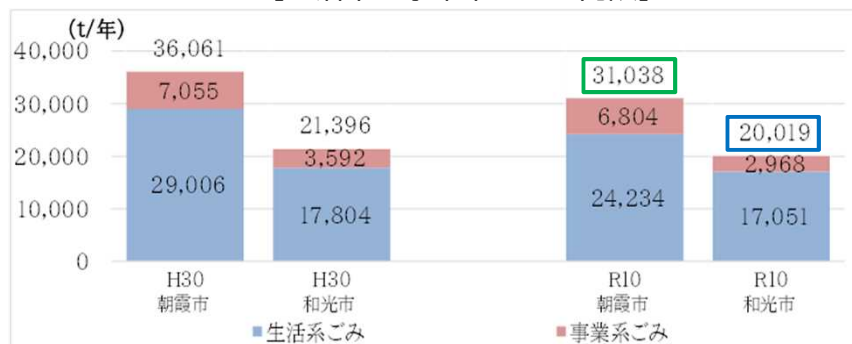
【ごみ総排出量（集団資源回収を除く）】



【生活系ごみ原単位】



【生活系・事業系ごみの内訳】



- 将来の年間ごみ排出量については、実績値を踏まえてトレンド法に基づく将来推計を行い、その推計値から「減量化目標」を定量的に見込んで、目標値を設定しています。
- 年間ごみ排出量（集団資源回収除く）は、人口、生活系ごみ原単位、事業系ごみ排出量の3つの指標から算定しています。

### 3) 広域処理の基本方針

趣旨

実態  
推計

基本  
方針

建設  
予定地

施設  
構想

スケジ  
ュール

概算  
事業費

#### 基本方針 1：経済性・効率性の確保

経済性・効率性を確保したごみの広域処理体制を構築します。

#### 基本方針 2：安心・安全・安定的な広域処理体制の構築

安心・安全で安定的な広域処理体制の構築を目指し、確立された技術による信頼性の高い広域処理施設の整備を目指します。

#### 基本方針 3：環境負荷の少ない広域処理施設の整備

廃棄物エネルギーの有効利用と、省エネルギー・再生可能エネルギーの導入により環境負荷の少ない広域処理施設の整備を目指します。

#### 基本方針 4：地域社会に貢献できる体制の構築

環境学習機能の付加や周辺地域との連携・協力により、地域社会に貢献できる広域処理施設の整備を目指します。

### 3) 広域処理の基本方針（広域処理を行う業務範囲）

趣旨

実態  
推計

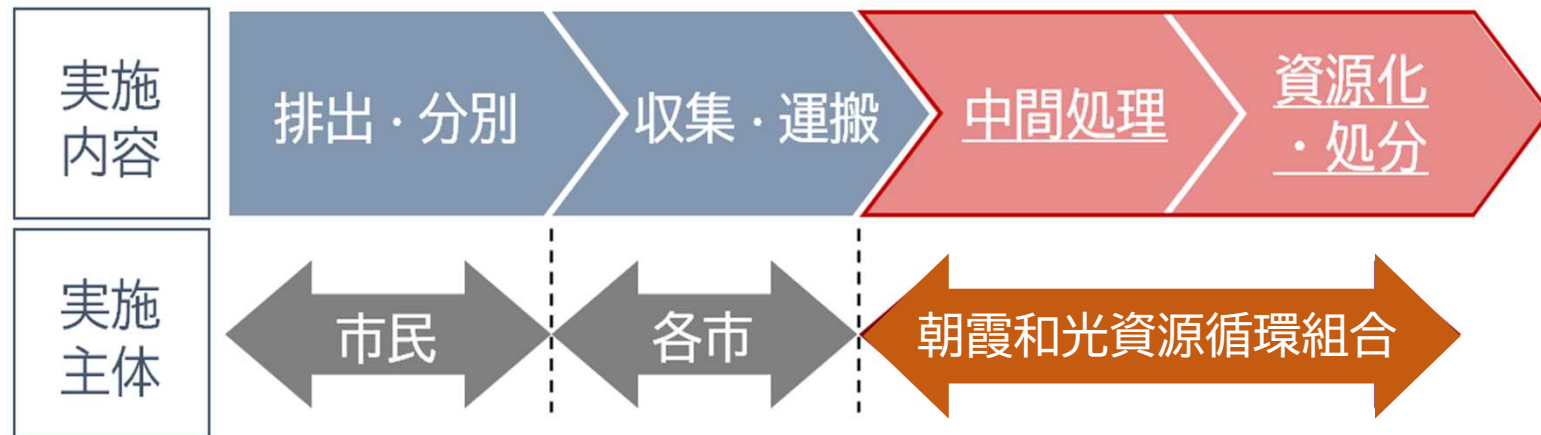
基本  
方針

建設  
予定地

施設  
構想

スケジ  
ュール

概算  
事業費



広域処理を行う範囲については、安定かつ効率的なごみ広域処理体制の構築に向けて、継続的に検討していきます。

### 3) 広域処理の基本方針（分別区分と収集運搬体制）

趣旨

#### ごみの分別区分

- 両市の分別区分は概ね一致していますが、令和10年（2028年）度稼働予定の広域処理施設での受入体制や、施設の仕様（破碎機の投入寸法等）にも関する内容であるため、十分な市民への周知期間を考慮した上で、統一を図ります。

実態  
推計

基本  
方針

#### 収集運搬体制

- 両市の収集運搬体制に違いはないため、現状の体制を維持します。  
しかしながら、安定的かつ効率的なごみ処理体制を構築する観点から、将来にわたり継続的に検討していきます。

建設  
予定地

施設  
構想

#### 搬入車両台数

- ごみ処理施設への直接搬入による持込車両台数については、土曜日や特定の期間（年末年始や年度末など）に集中することが常態化しており、周辺交通への影響が懸念されるため、広域処理施設の整備においては、敷地内に待機動線を十分に確保することや、直接搬入制度のあり方（事前予約制など）についても、今後検討していきます。

スケジ  
ュール

概算  
事業費

### 3) 広域処理の基本方針（広域シナリオ）

趣旨

実態  
推計

基本  
方針

建設  
予定地

施設  
構想

スケジ  
ュール

概算  
事業費

## ○ 広域処理施設の処理対象ごみと施設規模

① 焼却施設：173 t/日

➤ 燃やすごみ



② 不燃・粗大ごみ処理施設：15 t/日

➤ 燃やせないごみ

➤ 粗大ごみ



## 4) 建設予定地

趣旨

実態  
推計

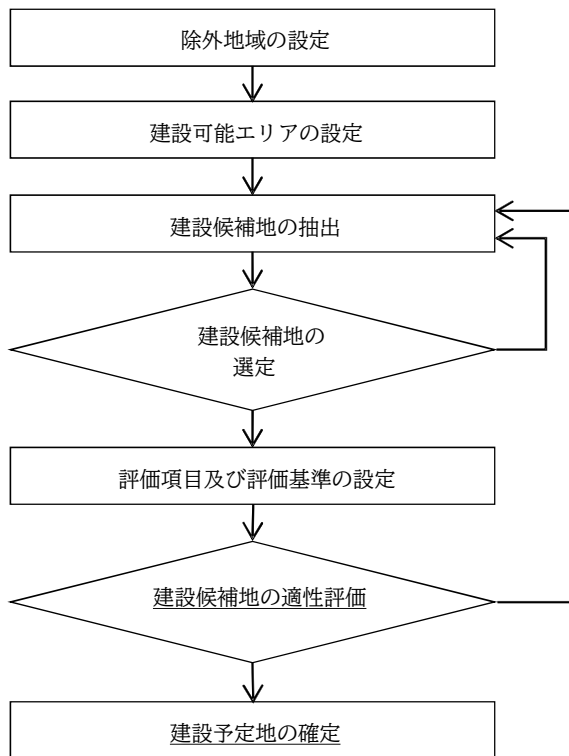
基本  
方針

建設  
予定地

施設  
構想

スケジ  
ュール

概算  
事業費



- 建設予定地の範囲は、旧ごみ焼却場跡地及び清掃センター駐車場敷地に加え、周辺農地等を含めて必要面積を確保します。
- 令和3年度に実施予定の生活環境影響調査を踏まえて、必要な対策を検討します。

# 5) 施設基本構想 (土木・建築基本構想)

趣旨

実態  
推計

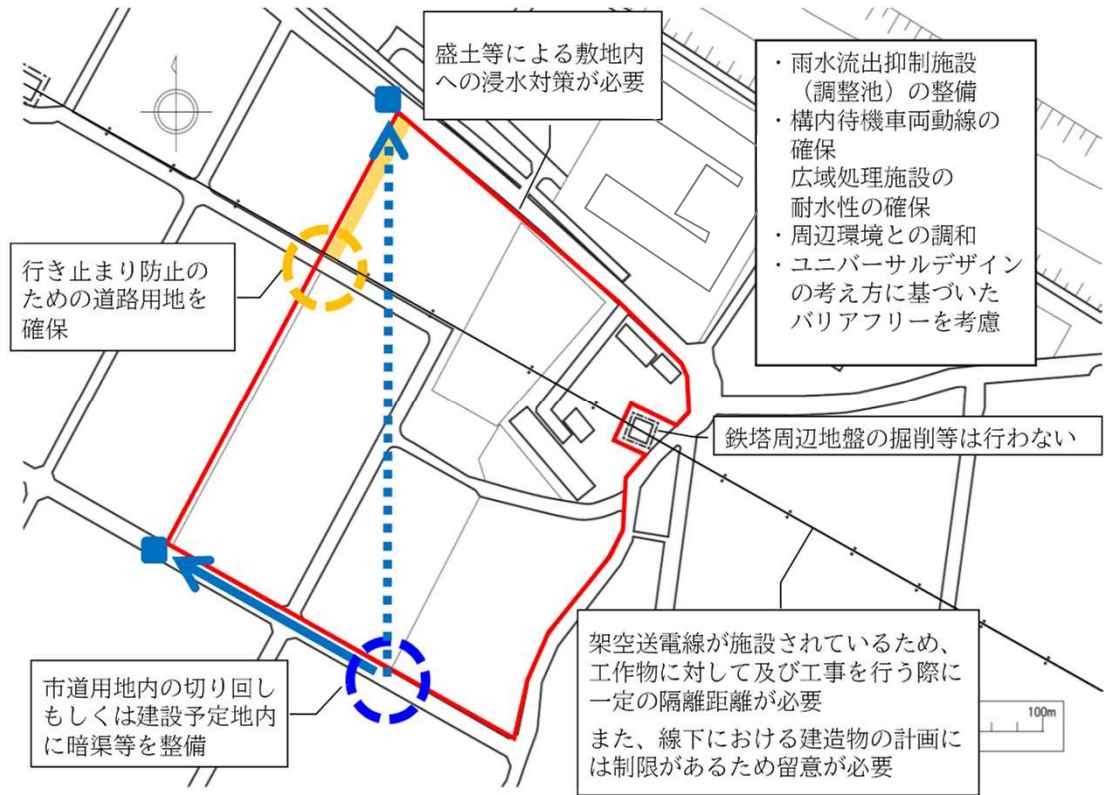
基本  
方針

建設  
予定地

施設  
構想

スケジ  
ュール

概算  
事業費



➤ 建設予定地の与条件や周辺環境への影響について、十分に配慮し検討を進めていきます。



# 5) 施設基本構想 (余熱利用構想)

趣旨

実態  
推計

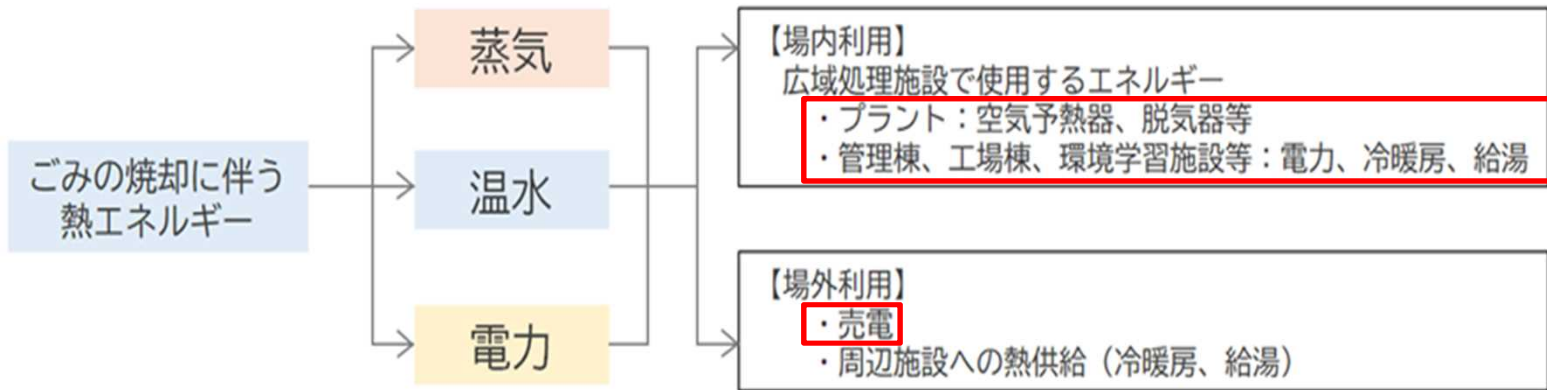
基本  
方針

建設  
予定地

施設  
構想

スケジ  
ュール

概算  
事業費



- 高温排ガスの熱エネルギーを有効に活用する熱回収施設として検討していきます。
- 余熱利用については、発電及び温水等の場内利用(プラントや建築設備等)を優先して考え、場外での利用については、施設運営費の削減が期待できる電力会社への売電について今後具体的に検討していきます。



買電コストの削減+売電収入による事業費抑制  
省資源、温室効果ガスの発生抑制  
災害時のバックアップ機能の確保

## 5) 施設基本構想（地域貢献）

趣旨

### 環境教育・環境学習の拠点

- ・廃棄物処理における広域処理施設の役割を理解してもらうため、施設見学ルートを整備します。
- ・施設見学、体験学習等を通じて、目で見て・感じることを通じて真実を学習し、自発的に行動を起こす”きっかけ”となる教育・学習機能を目指します。

実態  
推計

基本  
方針

### 環境に関する情報の収集・発信拠点

- ・子どもだけでなく、施設を利用する全ての人々が、地球温暖化防止や、持続可能な循環型社会形成推進への意識向上に資する情報収集ができる拠点とします。
- ・施設モニタリングや周辺環境モニタリング等の結果・情報をわかりやすく発信し、地域住民に信頼され、安心して受け入れられる施設とします。

建設  
予定地

施設  
構想

### 住民の環境活動の拠点


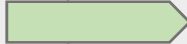







- ・3R（リデュース、リユース、リサイクル）や環境・資源問題について、理解や関心を高めるための講演会や各種イベントを開催できる拠点とします。
- ・リデュース、リユースの促進に資する拠点を整備します。

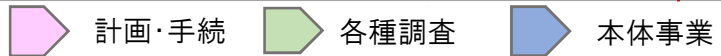
スケジ  
ュール

概算  
事業費

# 6) 事業スケジュール

- 趣旨
- 実態推計
- 基本方針
- 建設予定地
- 施設構想
- スケジュール
- 概算事業費

	実施内容	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10
1	朝霞和光資源循環組合の設立	★								
2	循環型社会形成推進地域計画									
3	地歴・埋設物・土壌汚染状況調査									
4	測量・地質調査									
5	施設整備基本計画の策定									
6	生活環境影響調査の実施									
7	都市計画変更手続き									
8	事業者選定>設計>建設									稼働開始



## 7) 概算事業費の試算（広域化のメリット）

趣旨

実態  
推計

基本  
方針

建設  
予定地

施設  
構想

スケジ  
ュール

概算  
事業費

### < 広域処理施設を整備した場合の概算事業費（試算） >

建設費 約167億円

管理運営費 約139億円

合計 約306億円

### ○ 広域化の財政メリット

両市が単独で建設・運営した場合と比較すると、  
建設費（イニシャルコスト）と管理運営費（ランニングコスト）  
20年間分を合わせて、約114億円の財政メリットが期待できます。

○ ごみ処理広域化基本構想は以下のURLからダウンロードできます。

- ・ 和光市ホームページURL

<http://www.city.wako.lg.jp/home/kurashi/gomi/doyou.html>

- ・ 朝霞市ホームページURL

<https://www.city.asaka.lg.jp/soshiki/15/kihongouisyo-teiketsu.html>

○ 今後は朝霞和光資源循環組合ホームページにて情報発信を行っていきます。

- ・ 朝霞和光資源循環組合ホームページURL

<https://www.asawa-junkankumiai.jp/>

朝霞和光資源循環組合 施設課

(和光市役所内5階)

連絡先 048-424-2253